

地域ネットワークニュース

～令和元年5月の勉強会のお知らせ & 平成31年4月の勉強会報告～

第256回 地域ネットワーク勉強会

「身近な法律家 司法書士の仕事とは」

講師：鈴木伸洋氏(司法書士) カシマ総合法務サービス

5月24日(金)

午後7時～9時

神栖市保健・福祉会館

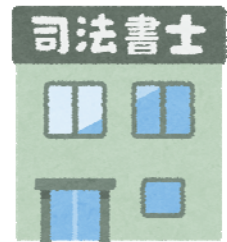
新館2階 研修室

複数の金融業者からの借金により返済が困難となった多重債務の整理や、遺産の家族間での財産分与手続きがまとまらないといった問題に、誰しもが直面する可能性があります。困っている状況から抜け出すには、ひとりだけで何とかしようと思わず周囲の人たちや専門家に相談することが大切です。

今回の勉強会では、生活の中での幅広い手続きを通じて「権利と財産」を守ってくれる司法書士を講師にお招きし、寄せられる相談の中から多重債務や相続トラブルについての相談の流れや解決法についてお話いただきます。

司法書士は、裁判所や法務局に提出する書類作成や登記手続きなど、本人を代理して行うことを主な業務とする法律の知識・手続きに長けた専門家です。さらに所定の研修を受講し、簡裁訴訟代理等能力認定考査に合格した法務大臣認定司法書士は、簡易裁判所が管轄する民事事件の対応をすることができます。

地域の相談窓口のひとつである司法書士の仕事について学びながら、困ったときに迷わないよう、事前に必要な知識を備えませんか。どなたでもお気軽にご参加ください。



会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 担当 飯田・大川 電話 0299-93-0294



第255回 地域ネットワーク勉強会報告 平成31年4月16日開催

相談援助スキルアップ講座

<参加者28名>

「相手を受け入れる支援力を身につけよう」

講師：千葉 剛氏(茨城県社会福祉士会 副会長)

鹿嶋市だいどう地域包括支援センター 社会福祉士

今回の勉強会は相談援助スキルアップ講座として、高齢者・障害者施設や総合病院、行政機関の相談員、ケアマネジャー等の“相談援助職”の方を主な対象として開催しました。

①援助関係を築く関わり、②コミュニケーション技術、③面接技術、④相手のニーズや課題を引き出す関わり等の4つの内容について、講話と演習の構成で進行していただきました。講話で学んだことをその場で演習することで、相談援助の学びを深めることができました。

演習では、初回面接時に心がけていることや配慮していることを話し合ったり、認知症を抱えた家族を演じる人と、その相談に応じる援助者を演じる人で、初回訪問相談で確認したいことをロールプレイ(役割演技)を行ったりしました。

様々な分野で相談支援をしている人たちとの演習で、他の相談援助者の対応方法を見ることで自分のバリエーションを増やすことができ、さらには参加者間で新しいネットワークの輪を広げることができました。